

## 2021年度 慶應義塾大学経済学部 日本史

〔Ⅰ〕

問1 (1) 1→3→2→4 (2) 3

問2 17世紀には松前藩が交易地を家臣に与える商場知行制が取られていたが、18世紀になると和人商人を主体とした場所請負制度へ移行した。

問3 a・6 b・4 c・5

問4 日露和親条約で国境は千島列島の択捉・得撫島間と定められ、樺太は両国人雑居の地となった。しかし、後の千島樺太交換条約によって千島列島は日本領、樺太はロシア領へと変化した。

問5 (a) 3 (b) 2 (c) 1

〔Ⅱ〕

問6 a・3 b・2 c・6

問7

(1) ロシア皇太子ニコライが津田三蔵に襲撃された際、政府は大逆罪の適用による死刑を要請した。一方、大審院長児島惟謙は謀殺未遂罪適用による無期徒刑を支持した。結果後者が判決として下された。

(2) 1

問8

(1) a・伊藤博文 b・松方正義

(2) ア・自由 イ・進歩

(3) a 1 b 3 c 4

(4) 維新直後は従来の公卿・諸侯の処遇として置かれていたが、華族令発布前後に元勲の一部が追加され、将来の議会上院の選出母体としての意味合いも持つようになった。

(5) 陸軍が朝鮮駐屯の二個師団増設を要求したが、内閣は財政難を理由にこれを拒否した。結果、陸相上原勇作は天皇に単独で辞表を提出した。その後陸軍は軍部大臣現役武官制を利用して後任を出さず、内閣は総辞職する運びとなった。

[Ⅲ]

問9

(1) 3 (2) 2・3・4

問10

(1) ア・首里 イ・那覇

(2) 謝恩使が琉球国王の代替わりごとに就任を感謝する名目で、慶賀使が将軍の代替わりごとに就任を祝う名目で派遣された。

問11 a・3 b・5

問12 日独が防共目的で協定を結んでいたにも関わらず、ドイツは共産主義国ソ連との間に独ソ不可侵条約を結んだ。これにより日本から見た同盟関係が矛盾してしまい、国際情勢の急変に対応できなくなったから。

問13

(1) 6

(2) 当初日本はアメリカに依存した外交方針をとっていたが、鳩山一郎首相が自主外交を提唱して日ソ共同宣言を調印し、ソ連との国交をも回復した。

問14 a・0 b・2 c・5 d・1

問15

(1) 2

(2) a · 1   b · 5   c · 2